

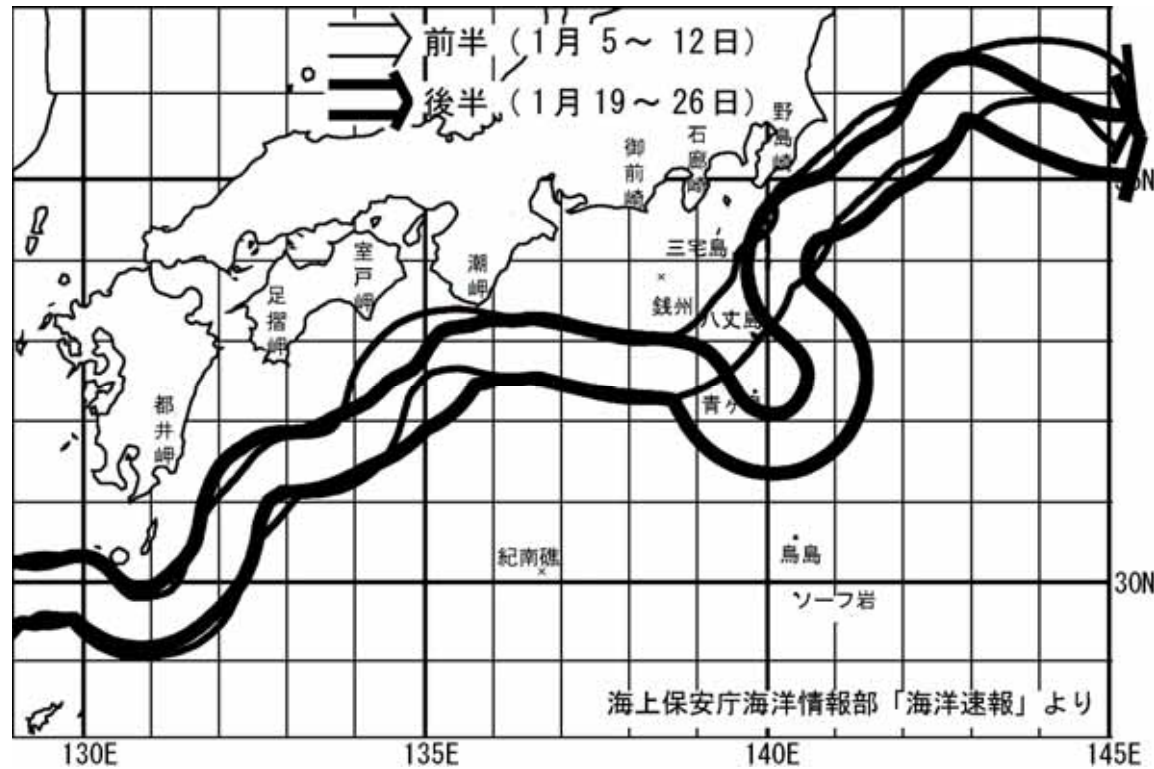
漁海況月報

平成27年 1月 1日

No. 1

~1月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半の黒潮は、遠州灘沖の33°N付近を東南東に進んだ後、138.5°Eから北東に向かい、八丈島の北を通過して房総半島沖へ流れた。後半は、伊豆諸島の東側で蛇行して青ヶ島付近を通過した後に北上し、房総半島沖へ流れた。

【県下沿岸域】

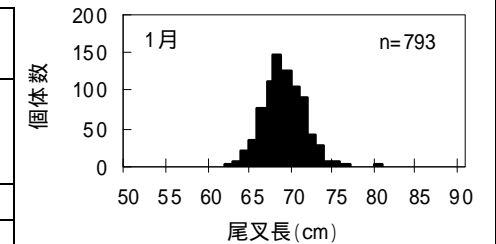
上旬は、上旬に下田で「平年並」の他は「やや低め」~「低め」であった。中旬は、相模湾側では下田で「やや高め」の他は「平年並」~「やや低め」、駿河湾では「やや低め」~「低め」であった。下旬は、相模湾側では下田で「やや高め」の他は「平年並」、駿河湾東部では「やや低め」、駿河湾西部では「平年並」であった。

【竿釣カツオ】

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚げ量は47トンで、前年同期は水揚げがなく過去5年平均の2.3倍あった。魚価は434円/kgで、過去5年平均を下回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。漁場は22~23°N、140~142°E付近の中南海域で、尾叉長68cmモードの大・特大カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚げ量(近海+沿岸船、県内主要5港)

期間	水揚げ量(トン)	水揚げ隻数	水揚げ/隻(トン)	平均単価(円/kg)
27年 1月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	47	2	23.5	434
27年 1月計	47	2	23.5	434
26年 1月計	0	0	-	-
25年 1月計	14	2	7.0	297



御前崎港における測定結果

定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.0	15.2	15.2	13.7	13.5	13.9	10.9
	-1.3	-0.6	-0.1	-1.9	-2.1	-0.8	-2.2
中旬	14.1	15.6	15.9	13.9	13.1	13.6	10.9
	-0.7	0.2	1.2	-1.2	-1.9	-0.7	-1.4
下旬	14.6	14.6	15.3	13.9	13.7	13.5	11.4
	0.2	-0.4	1.0	-0.8	-0.8	-0.5	-0.5
月	14.3	15.1	15.4	13.8	13.4	13.7	11.1
	-0.6	-0.3	0.7	-1.3	-1.6	-0.7	-1.3

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は355トンで前年の同漁場の水揚げ量(722トン)の0.5倍となった。また、1か統あたりの水揚げ量は50.7トンで前年(103.1トン)の0.5倍、平年(昭和57~平成26年の平均35.0トン)の1.4倍となった。魚種別の漁獲量をみるとスルメイカ、マイワシ、さば類の順に多かった。スルメイカは北川漁場で50%以上を占め、マイワシは伊豆山、古網漁場で、サンマは川奈、富戸漁場で大半を占めた。さば類はゴマサバ主体であった。ブリは銘柄「ぶり、わらさ」主体であった。漁場別の漁獲量では、北川漁場が86.6トン(スルメイカ、さば類、サンマなど)、古網漁場が80.9トン(マイワシ、スルメイカ、さば類など)、富戸漁場が69.6トン(スルメイカ、さば類、サンマなど)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
スルメイカ	138.1	0.4	2.3	北川、富戸、川奈
マイワシ	98.3	40.7	4.3	古網、伊豆山、富戸
さば類	41.9	0.2	0.9	伊豆山、川奈、富戸
サンマ	40.9	-	2.5	川奈、富戸、北川
ブリ	21.1	1.8	3.8	谷津、古網

[サバたもすくい棒受網]

年明けの水揚げは、14日からとなった。小川港ではマサバの水揚げが29トン(前年同月0トン)、ゴマサバの水揚げが403トン(前年同月比141%)であった。1隻あたり水揚量はマサバ1.5トン(前年同月0.0トン)、ゴマサバ21.2トン(前年同月比67%)であった。1kgあたり平均単価はマサバが409円で前年同月(286円)を上回った。ゴマサバは120円で前月(116円)、前年同月(101円)を上回った。

今月はたもすくい網、棒受網で操業した。漁場は、中旬は三宅、下旬は三本に形成され、ゴマサバは33cmにモードを持つ3歳魚主体であった(マサバについては測定を行っていない)。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(ト)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
27年1月上旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中旬	1	202	3	8	0.1	25.2	231	104	三宅
下旬	28	202	3	11	2.5	18.3	416	135	三本
27年1月計	29	403	6	19	1.5	21.2	409	120	三宅、三本
26年1月	0	286	5	9	0.0	31.8	193	101	三宅、三本、御蔵島
25年1月	38	179	7	16	2.3	11.2	485	107	利島、三本

- * 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。
- * マサバは僅かに水揚量があったので、単価のみ記載した。
- * 平成26年のマサバについては僅かに水揚量があったので、単価のみ記載した。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が50kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が600kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は385kgと前年同期(138kg)の2.78倍、平年同期(過去5か年平均:219kg)の1.76倍と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は72.1トンで前年同期(35.2トン)の2.05倍、平年同期(53.9トン)の1.34倍と前年同期、平年同期ともに上回った。平均単価は485円/kgと平年同期(759円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新居	3.3	1	4	836	465
舞阪	39.9	2	43	927	331
福田	22.0	2	41	537	563
御前崎	3.2	3	26	125	879
吉田	1.2	2	13	91	836
静岡	2.5	3	60	41	1,641
平成27年1月計	72.1	13	187	385	485
平成26年1月計	35.2	16	254	138	1,026
平成25年1月計	43.8	10	134	327	527

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計値は一致しない場合がある。
平年同期:過去5か年(平成22~26年)平均値

[まき網]

小川港のマイワシの水揚げは0.0トン(5kg)とほとんど無かった(平年同期26.0トン)。沼津港のマイワシの水揚げは無く(平年同期100.8トン)、カタクチイワシの水揚げも無かった。静岡港のマイワシの水揚げは無く(平年同期の水揚げもなし)、カタクチイワシの水揚げもなかった。伊東港のマイワシの水揚げは116.3トン(平年同期71.1トン)、カタクチイワシの水揚げは68.1トンであった。

平年同期:過去5か年(平成22~26年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

- 1月13日 ~ 1月15日 地先定点観測調査 (3日間)
- 1月20日 ~ 1月21日 サクラエビ資源量(MOHT)調査 (2日間)
- 1月26日 ~ 1月27日 サクラエビ(IKMT)調査 (2日間)
- 1月29日 ~ 1月30日 さば類標識放流調査 (2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

